



# Boston Monthly



発行日：令和6年5月18日 ボストン マンスリー 6月号

発行者：坂井 浩

## 5月の日程

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
5/19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31 漢検・数検 申込締切	6/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29 漢字検定

## 6月度費用納入について

### ●6月度のお月謝

◇銀行・郵便局口座引落

5月31日(金)にご指定の口座より自動引落させていただきます。

※小学生の夏期講習のご案内は6月上旬に、中学生の夏期講習会のスケジュールは来月のマンスリーでお知らせする予定です。大まかな日程は、前期行事予定表をご覧ください。

## 漢字検定のお知らせ

6月29日(土)に漢字検定を実施いたします。お配りした申込書に、検定料を添えてご提出ください。申込締切は5月31日(金)となっています。当日の各級の検定時間は下記の通りとなっています。

10級～8級 15:00～15:40 7級～2級 15:00～16:00

## 数学検定のお知らせ

7月6日(土)に今年度第1回目の数学検定を実施いたします。ご希望の方は申込用紙に費用を添えてお申し込み下さい。申込締切は5月31日(金)となっています。詳しくは別紙案内をご参照下さい。

## ボストンより一言

旭ヶ丘校 館山 敦史

### ケアレスミスをなくすには

今年度の入試も大変厳しいものでした。どの科目においても、とても平常心で立ち向かえるような問題ではなかったと思います。結果は様々でしたが、極度のプレッシャーの中で孤独に戦い抜いただけでも、十分に誇って良いのではないのでしょうか。この経験を財産にして、卒業した皆さんがより充実した学習生活を送ってくれることを祈っています。私たちにとっても多くの事に気づかされた入試であり、次の受験生のために、私たち自身が進化しなければなりません。

さて、中3に進級した皆さんは晴れて「受験生」となります、いよいよ自分の成績と本気で向き合おうとすれば、当然様々な悩みが生まれてくるものです。中でも毎年のように耳にするのが「ケアレスミスが多い」という悩みです。わかっているのに間違えてしまう、後で見れば正解が一目でわかるのによくわからない答えを書いている。誰でもそのような経験はたくさんしてきましたよね。人は一定の確率でエラーを起こすようになっていてそこに多少の個人差があることもわかっています。そのうえでエラーを減らす「コツ」みたいなものを求めている人が多いのでしょうか。

皆さんに考えてほしいのは、本当にケアレスミスかどうかということです。そもそもミスなく当たり前ができるようになるにはどれくらい練習する必要があるのでしょうか。ルールを理解したところで、それを100%ミスなく遂行できるかどうかは全く別問題です。例えば、ピアノで1つの曲を間違わずに弾くためには5回や10回

の練習では足りないというのはわかるでしょう。環境が変わったり、プレッシャーがかかったりした状況でもミスなくできるとなれば、100回200回でも足りないかもしれません。何事も理解したうえで「熟達化」する必要があるのです。

勉強にも全く同じことが言えます。思い出すまでに2秒かかる単語は覚えていると言えるのでしょうか、リスニング問題に出てきたら対応できないですよね。問題を読み違えるのは本当におっちょこちよだからでしょうか、問題を読み直すくらいの時間的・精神的な余裕が足りないのではないですか。計算ミスが多いという人、配られたテキストは全部埋まっているのでしょうか。そう言われると、耳が痛いと感じる人も多いはずですよ。

息をするように問題が解ける、と言ったら大げさかもしれないですが、それくらい無意識で当たり前のことになっていなければまだまだ練習が足りないと考えるべきです。熟達化して初めて、時間的な余裕ができ、細かい事に気が回るようになり、変則的な状況に対応できる柔軟さが得られるのです。

ケアレスミスをなくすには、「理解したと思ったところから、もう一段階磨きをかけること」が大切だと思います。

今月もボストン卒業生の大学合格の体験記をいただきました。裏面にのせてあります。ぜひ、ご覧ください！

私は小学5年生の夏休みから中学3年生の終わりまでボストンに通っていました。私がボストンを選んで良かったと思う点、そして高校での学習について書こうと思います。

1つ目は、毎週の小テストと、それに伴う席の移動です。私は元々、課題は期限直前まで後回しにしてしまったり、勉強はテスト直前に追い込めばいいやと思ってしまったりする性格です。ですがボストンでは頻りにテストがあったので、自然と学習習慣が身に付きました。また、座席が成績順で決まることで、志望校が同じ仲間と切磋琢磨することができました。

2つ目は、ボストンの落ち着いた雰囲気です。ボストンには、高い目標を掲げている同級生も多く、勉強を頑張ろうという雰囲気がありました。受験勉強においてまわりにどんな人がいるかは、とても重要だと思います。その点で、ボストンはとてもいい環境です。

次に、高校での学習についてです。私は1、2年は少し怠けてしまい、3年になってから追いつけたタイプでした。朝から晩まで勉強し続け、なんとか受験に間に合わせることができました。年末に学校の授業がすべて終わるのですが、それ以降の私のスケジュールを紹介します。

8:00起床 9:00~12:30 学校で自習、13:00 昼食、13:30~22:00 塾で自習、23:30 帰宅、夕食、風呂など 23:00~1:30 家で自習、合計で大体12時間の勉強を続けました。

精神的にも体力的にも疲れてしまうことが多かったですが、「落ちた時にこの怠けた時間を後悔するだろうな」と考えると休憩をとるのも惜しく感じました。成績は、3年7月までE判定で、最後の10月の模試でB~D判定でした。しかし、後半の追い込みの甲斐があって、入試当日の開示は医学科90人中4位の成績でした。現役生は最後まで伸びるという話は本当だなと強く感じます。

ただひたすらに勉強し続けるだけでなく、計画性を持つことも大切です。その場その場で何を勉強するか決めると、やりたいこととやらなければいけないことの区別がつかなくなっていくと思います。年単位、月単位、週単位でそれぞれ見通しを立てて、計画を練っていくと良いと思います。

私は大学受験の直前は、自習塾に通っただけだったので、誰かと高めあうというような機会はほぼありませんでした。その点で、ボストンという場はたくさんの仲間がいて、いい環境だったと感じています。皆さんもぜひ環境を活かして頑張ってください！